

第39回 入れ歯安定剤

入れ歯安定剤は、入れ歯を落ちにくくしたり、顎の上で安定させて痛みを緩和する等の役割があります。入れ歯を支える顎の骨が極端に痩せて入れ歯が安定しなくなったり、薬の影響で唾液が少なくなった為に入れ歯が落ちやすい、痛みが出やすいという方が使用されています。

しかし、入れ歯安定剤を使用される前に注意点もあります。入れ歯の適合が悪く十分に機能しない状態や、入れ歯の歯がすり減り咬み合わせがズレている状態で入れ歯安定剤を使用しても、結果的に状態を悪化させることがあるからです。まずは、かかりつけの歯科医院で相談してみましよう。歯科医院では、現在使用中の入れ歯が顎に合っているか、咬み合わせがズレていないか等を確認します。問題があれば、入れ歯の調整や修理をしたり、場合によっては新しく作る方が良い時もあります。その上で入れ歯安定剤が必要かどうかを判断します。

入れ歯安定剤にもいくつか種類があり、クリーム状、テープ状、粉末状の粘性タイプとゴムのような柔らかいクッションタイプのものがあります。症状に応じて使い分けられていますと思いますが、それぞれ問題点もあります。まず、クッションタイプのは、入れ歯が顎の形に合わない状態で使用すると、

安定剤に厚みが出て、顎の骨の形が変わってしまうことがあります。短期間で顎の骨が痩せるといふ報告もあります。また、咬み合わせが悪い状態で使用すると顎関節に痛みが出てくる場合もあります。事前に入れ歯の適合や噛み合わせの確認が必要です。また、クリームや粉末などの粘性タイプの場合は、入れ歯内面や粘膜面に安定剤が残りやすく、カビや細菌が繁殖し不潔になりやすいので、使用後のお手入れが大事です。

入れ歯は食後、専用の入れ歯ブラシで磨くのが基本です。入れ歯に付いている汚れやヌルヌルはしっかりと落としましよう。また週に一度くらいは入れ歯洗浄剤を使用して、化学的に清掃することをお勧めします。



入れ歯の咬み合わせがズレている状態で入れ歯安定剤を使っても良い結果は得られません